

平成31年度
白鷗大学教員免許状更新講習
開設講習のご案内（申込時及び受講時における連絡事項）

平成31年4月5日版

申込時及び受講時における連絡事項を講習別にご案内いたします。

| | |
|-----------------------|---------|
| タイムスケジュール | 1 頁 |
| 必修領域 | 2～3 頁 |
| 選択必修領域 | 4～5 頁 |
| 選択領域 | 6～22 頁 |
| オムニバス方式講習の講師タイムスケジュール | 23～24 頁 |

■ 次のことにご注意ください。 ■

1. 本学の教員免許更新講習システム内の「講習情報」もあわせてご確認ください。
2. 1日の講習時間は6時間です。
3. 既に履修認定済みの講習と同じ講習は受講できませんので、ご注意ください。
4. 必修領域の申込みは、いずれか一方のみとなります。
5. 選択必修領域の申込みは、いずれか一方のみとなります。
6. 同一日開設の講習の申込みは、いずれか一方のみとなります。
7. 同一名称の講習は講習内容が同一のため、いずれか1日のみの申込みとなります。
8. 領域ごとに開設日順に掲載されています。
9. 記載内容に変更・修正・追加等が生じた場合は、訂正版を本学ホームページにアップします。

白鷗大学 教員免許状更新講習
〒323-8585
栃木県小山市大行寺 1117 番地
TEL 0285-21-0600
E-Mail koushin@ad.hakuoh.ac.jp

タイムスケジュール

平成 31 年 4 月 5 日現在

※講習によってタイムスケジュールが違いますので、ご注意ください。

タイムスケジュールA

- ・【選択必修】教育相談(いじめ・不登校への対応を含む)
- ・【選択】教育データの統計的分析
- ・【選択】ハンドベル体験講座
- ・【選択】小学校社会科における地理および歴史的視点から考察する地域学習
- ・【選択】全教諭のための英語コミュニケーション力養成
- ・【選択】児童・生徒のPTSD障害への対応と法的責任
- ・【選択】ハンドベル応用講座
- ・【選択】心理学ワークショップ
ー自己理解とコミュニケーションのためにー
- ・【選択】愛着障害の理解と対応

| | | 日 程 | | |
|-----------|----|-------------|--------------------|----------------------|
| | | 講習時間(実施6時間) | 講習外 | |
| 受付(2号館1F) | | 必修、選択必修 | 8:30～9:00 | 30分 |
| | | 選択 | 8:40～9:00 | 20分 |
| オリエンテーション | | | 9:00～9:10 | 10分 |
| 1限 | 講習 | | 9:10～10:50 (100分) | |
| 休 憩 | | | | 15分 |
| 2限 | 講習 | | 11:05～12:45 (100分) | |
| 昼 休 み | | | | 12:45～13:35 50分 |
| 3限 | 講習 | | 13:35～15:15 (100分) | |
| 休 憩 | | | | 15分 |
| 試 験 | | | 15:30～16:30 (60分) | |
| | | | | 5分 (解答回収・アンケート配付) |
| 事後評価アンケート | | | 16:35～16:40 | 5分 |

タイムスケジュールB

- ・【選択必修】教育課程経営の意義と実際
(カリキュラム・マネジメントのとらえ方)
- ・【選択】児童生徒の発達課題と発達特性に対する対応
- ・【選択】発達障害幼児の集団作り
- ・【選択】小学校理科の観察・実験—生命分野を中心として—
- ・【選択】学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する)
- ・【選択】保幼小の連携
- ・【選択】子どもの版表現
- ・【選択】英語教育におけるICT活用
- ・【選択】乳幼児期の発達と障害
- ・【選択】ピアノアンサンブル
- ・【選択】ホールゲームの系統的な指導のあり方
- ・【選択】器械運動の系統的な指導のあり方
- ・【選択】特別支援教育コーディネーターの業務

| | | 日 程 | | |
|-----------|----|-------------|-------------------|----------------------|
| | | 講習時間(実施6時間) | 講習外 | |
| 受付(2号館1F) | | 必修、選択必修 | 8:30～9:00 | 30分 |
| | | 選択 | 8:40～9:00 | 20分 |
| オリエンテーション | | | 9:00～9:10 | 10分 |
| 1限 | 講習 | | 9:10～10:30 (80分) | |
| 休 憩 | | | | 10:30～10:45 休憩15分 |
| 2限 | 講習 | | 10:45～12:05 (80分) | |
| 昼 休 み | | | | 12:05～12:55 50分 |
| 3限 | 講習 | | 12:55～14:15 (80分) | |
| 休 憩 | | | | 14:15～14:30 休憩15分 |
| 4限 | 講習 | | 14:30～15:50 (80分) | |
| 休 憩 | | | | 15分 |
| 試 験 | | | 16:05～16:45 (40分) | |
| | | | | 5分 (解答回収・アンケート配付) |
| 事後評価アンケート | | | 16:50～16:55 | 5分 |

タイムスケジュールC

- ・【選択】ICTの発展とその利用

| | | 日 程 | | |
|-----------|----|-------------|-------------------|----------------------|
| | | 講習時間(実施6時間) | 講習外 | |
| 受付(2号館1F) | | 必修、選択必修 | 8:30～9:00 | 30分 |
| | | 選択 | 8:40～9:00 | 20分 |
| オリエンテーション | | | 9:00～9:10 | 10分 |
| 1限 | 講習 | | 9:10～10:25 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 10:25～10:40 休憩15分 |
| 2限 | 講習 | | 10:40～11:55 (75分) | |
| 昼 休 み | | | | 11:55～12:45 50分 |
| 3限 | 講習 | | 12:45～14:00 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 14:00～14:15 休憩15分 |
| 4限 | 講習 | | 14:15～15:30 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 15分 |
| 試 験 | | | 15:45～16:45 (60分) | |
| | | | | 5分 (解答回収・アンケート配付) |
| 事後評価アンケート | | | 16:50～16:55 | 5分 |

タイムスケジュールD

- ・【必修】最新の教育事情(小・中・高教諭向け)
- ・【必修】幼児教育の最新事情
- ・【選択必修】学校をめぐる変化と組織的対応
- ・【選択】子どものすこやかな体を育てる
(身体のこと、健康のこと)

| | | 日 程 | | |
|-----------|----|-------------|-------------------|----------------------|
| | | 講習時間(実施6時間) | 講習外 | |
| 受付(2号館1F) | | 必修、選択必修 | 8:30～9:00 | 30分 |
| | | 選択 | 8:40～9:00 | 20分 |
| オリエンテーション | | | 9:00～9:10 | 10分 |
| 1限 | 講習 | | 9:10～10:25 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 10:25～10:40 休憩15分 |
| 2限 | 講習 | | 10:40～11:55 (75分) | |
| 試 験 | | | 12:10～12:40 (30分) | |
| 昼 休 み | | | | 12:40～13:30 50分 |
| 3限 | 講習 | | 13:30～14:45 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 14:45～15:00 休憩15分 |
| 4限 | 講習 | | 15:00～16:15 (75分) | |
| 休 憩 | | | | 15分 |
| 試 験 | | | 16:30～17:00 (30分) | |
| | | | | 5分 (解答回収・アンケート配付) |
| 事後評価アンケート | | | 17:05～17:10 | 5分 |

必修領域

| 開設日 | 2019年8月8日(木) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 最新の教育事情(小・中・高 教諭向け) | | |
| ② 講習内容 | 小学校以上の学校種の教員に求められる今日的な教育課題に関して、最新の情報に基づいた理解を深めることを目指す。オムニバス方式によって、「国の教育政策の動向」「教員としての子ども観、教育観」「世界の教育改革の動向」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)」 「子どもの生活の変化を踏まえた課題」などについて講義を行う。 | | |
| ③ 講師名 | 小泉祥一(コイズミ ショウイチ)、伊勢正明(イセ マサキ) | | |
| ④ 定員 | 250名(卒業生先行募集枠:50名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 申込時における連絡事項 | 講習内容は小学校以上の学校種の教員が対象となります。 | | |
| ⑥ 受講時における連絡事項 | 2名の講師が2限ずつ担当するオムニバス方式の講習です。 | | |
| ⑦ タイムスケジュール | タイムスケジュール「D」 | | |
| ⑧ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑨ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |
| 講師名 | 小泉 祥一(コイズミ ショウイチ) | | |
| ⑩ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑪ 受講時における連絡事項 | 当日は、担当校種の新学習指導要領を準備してください。 いずれも文部科学省のホームページからダウンロードできます。 | | |
| ⑫ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑬ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |
| 講師名 | 伊勢 正明(イセ マサキ) | | |
| ⑩ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑪ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑫ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑬ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

最新の教育事情の担当内容区分表

※網掛けの部分は、いずれかの内容が含まれていれば可となっています。

| 講師名 | 事項 | 記号 | 含めるべき内容・留意事項 |
|-------|---|----|-----------------------------------|
| 小泉 祥一 | イ 国の教育政策や世界の教育の動向 | a | 国の教育政策 |
| 小泉 祥一 | | b | 世界の教育の動向 |
| 小泉 祥一 | ロ 教員としての子ども観、教育観等についての省察 | c | 子ども観、教育観等についての省察 |
| 小泉 祥一 | | d | 教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄 |
| 伊勢 正明 | ハ 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。) | e | 子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 |
| 伊勢 正明 | | f | 特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等) |
| — | ニ 子どもの生活の変化を踏まえた課題 | g | 居場所づくりを意識した集団形成 |
| — | | h | 多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 |
| — | | i | 生活習慣の変化を踏まえた生徒指導 |
| — | | j | 社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育 |
| 伊勢 正明 | | k | その他の課題 |
| 伊勢 正明 | | l | カウンセリングマインドの必要性 |

| 開設日 | | 2019年8月9日(金) | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 幼児教育の最新事情 | | |
| ② 講習内容 | 幼稚園教諭や保育教諭に求められる今日的な教育課題に関して、最新の情報に基づいた理解を深めることを目指す。「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」などについて講義を行う。最新の幼児教育についての知識を修得し、具体的な事例を参考に受講者とともに考察し理解を深めることを目指す。 | | |
| ③ 講師名 | 伊勢 正明(他 マサキ)、山路 千華(ヤマジ 千) | | |
| ④ 定員 | 100名(卒業生先行募集枠:20名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 申込時における連絡事項 | 講習内容は幼稚園教諭が対象となります。 | | |
| ⑥ 受講時における連絡事項 | 2名の講師が担当するオムニバス方式の講習です。 | | |
| ⑦ タイムスケジュール | タイムスケジュール「D」 | | |
| ⑧ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑨ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |
| 講師名 | 伊勢 正明(他 マサキ) | | |
| ⑩ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑪ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑫ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑬ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |
| 講師名 | 山路 千華(ヤマジ 千) | | |
| ⑩ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑪ 受講時における連絡事項 | 平成29年度告示の幼稚園教育要領または幼保連携型認定こども園教育・保育要領を持参してください。 | | |
| ⑫ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑬ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

幼児教育の最新事情の担当内容区分表

※網掛けの部分は、いずれかの内容が含まれていれば可となっています。

| 講師名 | 事項 | 記号 | 含めるべき内容・留意事項 |
|-------|---|----|-----------------------------------|
| 山路 千華 | イ 国の教育政策や世界の教育の動向 | a | 国の教育政策 |
| 山路 千華 | | b | 世界の教育の動向 |
| 山路 千華 | ロ 教員としての子ども観、教育観等についての省察 | c | 子ども観、教育観等についての省察 |
| 山路 千華 | | d | 教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄 |
| 伊勢 正明 | ハ 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。) | e | 子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 |
| 伊勢 正明 | | f | 特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等) |
| — | 二 子どもの生活の変化を踏まえた課題 | g | 居場所づくりを意識した集団形成 |
| — | | h | 多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 |
| — | | i | 生活習慣の変化を踏まえた生徒指導 |
| — | | j | 社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育 |
| 伊勢 正明 | | k | その他の課題 |
| 伊勢 正明 | | l | カウンセリングマインドの必要性 |

選択必修領域

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| 開設日 | 2019年8月20日(火) | | |
| ① 講習名 | 学校をめぐる変化と組織的対応 | | |
| ② 講習内容 | 学校をめぐるさまざまな変化により、新たな問題や課題が生じている。本講習では、教員のスムーズな世代交代、子どもの虐待や貧困、問題行動と危機管理などを取り上げ、現状をあらためて見つめ直した上で、学校組織として対応し、明るく希望ある未来を切り拓く方途を探る。 | | |
| ③ 講師名 | 金井 正 (カイ タシ)、荒川 麻里 (アラカ マリ) | | |
| ④ 定員 | 100名(卒業生先行募集枠:20名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 学校種 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 | |
| | 免許職種、教科等 | 特定しない | |
| | 職務経験等 | 特定しない | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 小・中学校における学級・学校経営の実践に基づき、組織的対応について講義します。学校をめぐる変化については、世界的な改革動向や理論を踏まえた内容です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 2名の講師が2限ずつ担当するオムニバス方式の講習です。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「D」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| 開設日 | 2019年8月20日(火) | | |
| ① 講習名 | 教育相談(いじめ・不登校への対応を含む) | | |
| ② 講習内容 | 不登校児童生徒数が、近年再び増加傾向にある。いじめについても、全小中学校の7割以上で30万件以上が認知されている。「ネットいじめ」といわれる新しい形態のいじめや、命に関わる深刻な案件も、しばしば生じている。このような状況に鑑み、教育相談事例を通して、連携を視野に入れつつ教員が行う対応と予防について考えるとともに、カウンセリング・マインドに基づく児童生徒の理解と関係性のあり方についても考えていく | | |
| ③ 講師名 | 伊東 孝郎 (イトウ タカ) | | |
| ④ 定員 | 150名(卒業生先行募集枠:30名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 学校種 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 | |
| | 免許職種、教科等 | 特定しない | |
| | 職務経験等 | 特定しない | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 本講習は全校種の教員が受講可能となっておりますが、内容は小・中・高の教員向けとなっております。ご了承ください。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| 開設日 | 2019年8月21日(水) | | |
| ① 講習名 | 教育課程経営の意義と実際(カリキュラム・マネジメントのとらえ方) | | |
| ② 講習内容 | 学習指導要領改訂の趣旨を確認し、今日の学校教育における教育課程経営の意義ならびに実際の取り組み方法について考える。その場合、カリキュラム・マネジメントや、その中心にある「教科横断的な視点からの教育活動の改善」とは何か、そのとらえ方の特徴と問題点についても検討する。 | | |
| ③ 講師名 | 小泉 祥一(コイズミ ショウイチ) | | |
| ④ 定員 | 100名(卒業生先行募集枠:20名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 学校種 | 小学校・中学校・高等学校 | |
| | 免許職種、教科等 | 特定しない | |
| | 職務経験等 | 特定しない | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 当日は、担当校種の新学習指導要領を準備してください。 いずれも文部科学省のホームページからダウンロードできます。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

選択領域

| 開設日 | 2019年8月6日(火) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 教育データの統計的分析 | | |
| ② 講習内容 | (1) 教育データの数学・統計学的測定処理 (2) 教育データの分析方法 (3) 分析結果の評価と教育方法への反映・活用を学ぶ。 講習の形態は、講義およびコンピュータによる実習。数学・統計学的考察を中心に学ぶので、この分野に関心を持つ教員向け内容。Excel(特に関数式)の操作ができることが望ましい。 | | |
| ③ 講師名 | 樋口 和彦(ヒグチ かつひこ) | | |
| ④ 定員 | 40名(卒業生先行募集枠: 8名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 全教員 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | PCの操作、統計的・数学的考察に抵抗がないことが望ましいです。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | USB対応のメモリ(フラッシュメモリーなど)を持参されると便利です。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月6日(火) | | |
|---------------|---|--------------------------------|---------------------------------|
| ① 講習名 | ハンドベル体験講座 | | |
| ② 講習内容 | ハンドベルの演奏法を中心に教育的効果の検証を目的とする。ハンドベルと同種の楽器にはアングルン(インドネシアの民族楽器、竹)、チャイム(トーンチャイム・クワイアチャイムなど、アルミ)、ミュージックベル、イングリッシュ・ハンドベル(演奏用ハンドベル、ブロンズ)などがあるが、それぞれの楽器の紹介、アングルンの製作、演奏法の実技指導を行い、自ら演奏を体験する。また他の楽器とのアンサンブル、歌の伴奏など、教育現場における導入法をさぐる。 | | |
| ③ 講師名 | 荒井 弘高(アライ ヒロカ) | | |
| ③ 定員 | 35名 (卒業生先行募集枠: 7名) | ⑤ 受講料 | 8,350円 (教材費、アングルン 2,250円を含む) |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校(音楽)教諭・高等学校(音楽)教諭・特別支援学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験と修了演奏の実技考査 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月6日(火) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 児童生徒の発達課題と発達特性に対する対応 | | |
| ② 講習内容 | 小学校以上の児童・生徒の発達障害の診断の有無に関わらず、学習活動に困難を抱えている児童生徒の問題を環境や周囲からの要求に対する不適応という視点から捉え直し、発達特性に応じた指導方法のあり方や発達課題に対する支援の方法について考える。 | | |
| ③ 講師名 | 伊勢 正明 (化 マサキ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 後半、グループワークを通じた情報共有をして頂く予定です。 主に、小学生を中心としたエリクソン流の発達課題の理解と発達特性への対応を考える場として考えています。 「発達課題」の言葉には、社会状況からの要請や困難さという意味で貧困問題や外国籍児童の問題も視野に入れた内容にしたいと考えています。また、「発達特性」の言葉には、発達障害由来の問題も視野に入れた内容にしたいと考えています。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | 平成30年度に「児童生徒の発達と障害」の履修が認定済の方は、受講できません。 | | |

| 開設日 | 2019年8月6日(火) | | |
|---------------|---|-------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 小学校社会科における地理および歴史的視点から考察する地域学習 | | |
| ② 講習内容 | 小学校の社会科学習では、地域の実態を正確に把握させることが重要であるが、教員の側に地理的事象に関する知識の不足や地理的なものの見方の欠如がみられる。本講習では、受講者の勤務校所在地と栃木県、さらに栃木県と全国各地や世界各国との関係を、都市圏の設定や工業生産などの視点から考察を行う。また栃木県内の歴史的背景を踏まえた具体的事例を示しつつ、児童の地理的空間の拡大への教員の関わり方にまで言及する。 | | |
| ③ 講師名 | 奥澤 信行 (オザワ ノブユキ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 小学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 講習内容は主に栃木県を事例として小学校社会科の地理的分野と歴史的分野を扱いますが、他県の学校に勤務されている先生方の受講も可能です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 中学校または高校で使用する地図帳をお持ちでしたら準備してください。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | 7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月6日(火) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 全教諭のための英語コミュニケーション力養成 | | |
| ② 講習内容 | グローバル化が進行し、「英語が使える日本人」の育成が図られている中で、英語を専門としない教員においても教育現場で英語に接する機会が増えている。本講習では、①英語習得理論の基礎を学び、②国際語としての英語について理解を深め、③自らの英語コミュニケーション力を向上させるための演習を行う。 | | |
| ③ 講師名 | リチャード・トッド・ラルー | | |
| ④ 定員 | 30名(卒業生先行募集枠：6名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月7日(水) | | |
|---------------|--|--|--|
| ① 講習名 | 教育データの統計的分析 | | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・②～⑫については6頁の「教育データの統計的分析」を参照してください。 ・申し込んだ開設日をご確認ください。 ・申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | | |
| ③ 講師名 | | | |
| ④ 定員 | | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | | |
| ⑩ 会場 | | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | | |

| 開設日 | 2019年8月7日(水) | | |
|---------------|--|--|--|
| ① 講習名 | ハンドベル体験講座 | | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・②～⑫については6頁の「ハンドベル体験講座」を参照してください。 ・申し込んだ開設日をご確認ください。 ・申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | | |
| ③ 講師名 | | | |
| ④ 定員 | | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | | |
| ⑩ 会場 | | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | | |

| 開設日 | 2019年8月7日(水) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 発達障害幼児の集団作り | | |
| ② 講習内容 | 就学前の幼児集団が子ども達自身にとって、過ごし易く、楽しい生活・学びの場であるためには、指導者・支援者側が様々な発達障害の特性を有する幼児の存在を想定・意識して集団作りに取り組んでいくことが求められている。本講習では、発達障害幼児が含まれるクラス等の一定のまとまりにおける集団作りの具体について検討していく。 | | |
| ③ 講師名 | 伊勢 正明 (他 マ7キ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | <p>グループワークを通して情報共有をして頂く予定です。テーマが「発達障害幼児」となっていますが、診断を得ていない気になるお子さんのケースについてもご自身でまとめてご参加下さると助かります。</p> <p>なお、グループワークで共有を考えている情報は、ケースの性別、年齢、その子の集団への態度や関与の状況、参加頂く皆さんがこれまでどのような関わりをしたか、印象的な出来事の起きた時間や場所、またその印象的な出来事に関与している他の子どもや保育者のこと、等々です。</p> <p>分量が多いので、個人が特定されないように個人情報を変更したものをノートにまとめておくと良いかと思えます。</p> | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | グループワークを予定しています。グループ編成のルールは、当日、改めてご案内しますが、同じ職場の方と一緒にならないようにお伝えする予定です。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月7日(水) | | |
|---------------|--|--------------------------------|------------------------|
| ① 講習名 | 小学校理科の観察・実験—生命分野を中心として— | | |
| ② 講習内容 | 次期学習指導要領においても小学校理科「生命」分野では「生物の多様性と共通性」の見方の育成が重視される。本講習を通して、どのように「生物の多様性と共通性」の見方を授業に取り入れたらよいか考える。各学年の小学校理科において上記の視点を取り入れた授業例の紹介(ICTの活用を含む)や、アルコールジェルを利用した昆虫標本作りも行う。 | | |
| ③ 講師名 | 山野井 貴浩 (ヤマノイ タカヒロ) | | |
| ④ 定員 | 30名(卒業生先行募集枠:6名) | ① 受講料 | 6,600円 (教材費500円を含む) |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 小学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | 平成30年度に「小学校理科(生命分野)の観察・実験—生物の多様性と共通性の理解のために—」の履修が認定済の方は、受講できません。 | | |

| 開設日 | 2019年8月7日(水) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 子どものすこやかな体を育てる(身体のこと、健康のこと) | | |
| ② 講習内容 | 現代の子どもたちが抱える健康問題を誘発している要因について、運動生理学および公衆衛生学的視点において解説する。そして、その要因について教科指導や保健指導において、どのような教育的介入をすべきか考える。 | | |
| ③ 講師名 | 金田 健史 (カネダ タカシ)、荒井 信成 (アライ ノブナリ) | | |
| ④ 定員 | 120名(卒業生先行募集枠:24名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 2名の講師が2限ずつ担当するオムニバス方式の講習です。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「D」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月9日(金) | |
|---------------|--|--|
| ① 講習名 | 教育データの統計的分析 | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・②～⑫については6頁の「教育データの統計的分析」を参照してください。 ・申し込んだ開設日をご確認ください。 ・申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | |
| ③ 講師名 | | |
| ④ 定員 | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | |
| ⑩ 会場 | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | |

| 開設日 | 2019年8月9日(金) | |
|---------------|---|--------------------------------|
| ① 講習名 | 学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する) | |
| ② 講習内容 | <p>学校で予防すべき感染症(学校感染症)は学校保健安全法で、その対応・出席の停止期間等が定められている。学校で特に流行しやすい学校感染症をいくつか選び、その幼児・児童・生徒や保護者への対応方法や教室で広めないための予防対策などを具体的に解説する。また、教員自身も感染しないようにする身を守る術を学ぶ。</p> | |
| ③ 講師名 | 岡田 晴恵(オガタ ハルエ) | |
| ④ 定員 | 100名(卒業生先行募集枠:20名) | ⑤ 受講料 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 感染症の講義の他にも「感染症カルタ」を使って子供達への健康教育の実践を体験していただきます。動きやすい服装で参加してください。 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | |

| 開設日 | 2019年8月19日(月) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | ICTの発展とその利用 | | |
| ② 講習内容 | 近年における ICT(Information and Communication Technology)の発展は著しく、扱いにくいイメージを持たれるかもしれないが、その活用は特に社会科学分野の学習に大きく寄与するものと思われる。本講習では最新の ICT事情などの基本的な事柄を考察した後、いくつかの実践事例を紹介し、ICTの活用方法を考える。 | | |
| ③ 講師名 | 山田 徳彦 (ヤマダ トクヒコ) | | |
| ④ 定員 | 30名(卒業生先行募集枠:6名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 中学校教諭・高等学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | コンピュータを使用いたしますが、初心者でも受講可能です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「C」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月19日(月) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 保幼小の連携 | | |
| ② 講習内容 | 就学前後の校種間連携は以前から推進がうたわれながら、なかなか進んでいない。本講習では先ず保幼小連携に関する知識を確認した後、それぞれの立場で考えられていることを互いに共有することを通して、今後、保幼小連携が活発となるための道を探る。 | | |
| ③ 講師名 | 伊勢 正明 (イセ マサキ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 講習では、接続期カリキュラムの編成にいきなり取り組むのではなく、就学前施設と小学校のそれぞれの校種間連携の根拠や位置づけを確認した後、校種間連携を推進するためのアイデアを参加者相互で考えたいと思います。 また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の捉え方や保育内容と教科教育内容の繋がりについて共通認識を醸成することが本講習の主たるねらいです。 後半、グループワークを通じた情報共有をして頂く予定です。そのため、所属校園での接続期カリキュラムの編成や取り組み状況について、ある程度、確認やまとめをしてお参加頂けますとありがたいです。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | 平成30年度に「幼稚園と小学校の連携について」の履修が認定済の方は、受講できません。 | | |

| 開設日 | 2019年8月19日(月) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------------------------|
| ① 講習名 | 子どもの版表現 | | |
| ② 講習内容 | 版表現の基礎的な知識と造形活動の教材として「版に表す」ことの有効性について実践例を挙げて解説する。さらに子どもたちが感じ取ったこと、表したいことを形にするための素材の選択と表現技法、制作の工夫など実技を通して考えるとともに道具や材料の適切な使用方法など指導者・保育者として求められる教育・保育環境の安全管理について理解することを目的とする。 | | |
| ③ 講師名 | 齋藤 千明 (サイトウ チカ) | | |
| ④ 定員 | 35名(卒業生先行募集枠:7名) | ① 受講料 | 7,400円 (教材費1,300円を含む) |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 講習内容は、幼児の造形遊びから小学校図画工作における版に表す造形活動まで幅広く扱います。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 当日は、汚れ防止のエプロンやスモック等をご用意ください。制作物を持ち帰るための袋、バック等(A3サイズ程度)を持参してください。左利き用のハサミ、カッターが必要な方は各自ご用意願います。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月19日(月) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 英語教育におけるICT活用 | | |
| ② 講習内容 | 英語教育の様々な場面におけるICT活用法の検討と実践を目的とする。具体的には、まず、授業準備から授業実践、そして授業後と場面を分け、それぞれの活用方法を検討する。その後、パワーポイントによる教材作成や答案採点処理用ソフトウェアに対応した試験問題と答案用紙の作成、そして、これらの実践を踏まえ、教育現場でのさらなる活用法について議論を深める。 | | |
| ③ 講師名 | 奥山 慶洋 (オヤマ ケイヨウ) | | |
| ④ 定員 | 45名(卒業生先行募集枠:9名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 小学校教諭・中学校(英語)教諭・高等学校(英語)教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | コンピュータを利用する講習ですが、初心者や苦手な方でも受講可能です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 当日はデータ保存できるもの(USBメモリー等)を持参してください。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月21日(水) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 児童・生徒のPTSD障害への対応と法的責任 | | |
| ② 講習内容 | 私たちは、自然災害(地震・津波)、生命危機(交通事故・殺戮行為)、心的強迫(身体的・性的虐待)などを経験して、フラッシュバック・思考の混乱・不眠などの症状を訴えることがある。これをPTSD(Post Traumatic Stress Disorder、心的外傷後ストレス障害、トラウマ症状)という。本講習では、幼児や児童、生徒が罹るPTSDについて、臨床心理学と民法学の視点から、症例を報告し、対応策を提言し、内在する法的問題を検討する。 | | |
| ③ 講師名 | 石川 信(イカワ シン) | | |
| ④ 定員 | 70名(卒業生先行募集枠:14名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月21日(水) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 乳幼児期の発達と障害 | | |
| ② 講習内容 | 乳幼児期の子どもの発達に関して、定型発達及び発達障害のある非定型発達両方について講義することば、社会性、認知などの領域の発達がどのように起こるのかを理解する。また、自閉症スペクトラム症やADHDなどの発達障害についても理解する。そして、発達障害のある子どもに対してどのような支援をするのが適切であるのかを、この時期の子どもの発達の特徴を踏まえながら考える。 | | |
| ③ 講師名 | 浅田 晃佑(アサダ コウスケ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月21日(水) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | ハンドベル応用講座 | | |
| ② 講習内容 | <p>本学開設の教員免許状更新講習における「ハンドベル体験講座」を受講済の方、若しくはハンドベルの演奏経験のある方を対象とした応用編の講座である。ハンドベル、ハンドチャイムの楽器を用いて、その演奏法を学び、子どもたちへの指導法をさぐることを目的とする。</p> | | |
| ③ 講師名 | 荒井 弘高 (アライ ヒロカ) | | |
| ④ 定員 | 35名(卒業生先行募集枠：7名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校(音楽)教諭・高等学校(音楽)教諭・特別支援学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 本学開設の教員免許状更新講習における「ハンドベル体験講座」を受講済の方、若しくはハンドベルの演奏経験のある方を対象とした応用編の講座です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 講習当日は、白手袋を持参してください。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験と実技考査 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月22日(木) | | |
|---------------|--|--|--|
| ① 講習名 | ICTの発展とその利用 | | |
| ② 講習内容 | <p>・②～⑫については12頁の「ICTの発展とその利用」を参照してください。</p> <p>・申し込んだ開設日をご確認ください。</p> <p>・申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。</p> | | |
| ③ 講師名 | | | |
| ④ 定員 | | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | | |
| ⑩ 会場 | | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | | |

| 開設日 | 2019年8月22日(木) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | ピアノアンサンブル | | |
| ② 講習内容 | 教育現場において魅力ある楽しい授業を行えるように電子ピアノを使用し、合奏や簡単な連弾曲の実技と演奏法や表現法の基礎を学ぶ。演奏体験することで、アンサンブルの楽しさを感じ、また音楽に取り組む上での精神的な成長を促すような実践的な指導と理論を展開する | | |
| ③ 講師名 | 今田 政成 (イダ マサリ) | | |
| ④ 定員 | 48名(卒業生先行募集枠：9名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | クラヴィノーヴァで連弾や合奏をするので簡単な子供の歌の弾き語りができれば大丈夫です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 上履きを持参ください。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月22日(木) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | ボールゲームの系統的な指導のあり方 | | |
| ② 講習内容 | 学習指導要領が改訂され、体育科には小学校から高校までの12年間を4年ごとのまとまりとしてとらえたカリキュラムづくりが謳われている。本講習では小学校のゲーム・ボール運動から中学校の球技について、教材の系統性や学習内容方法の考え方を採り上げ、指導方法の実際を実技を交えて学ぶことがねらいとなる。 | | |
| ③ 講師名 | 内田 雄三 (ウチダ ユウゾウ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠：10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 学習指導要領(勤務校の校種に応じて。幼稚園教諭の場合は教育要領)の準備をお願いします。運動を行いますので着替えと水分補給用の飲料、体育館シューズの準備をお願いします。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月22日(木) | | |
|---------------|--|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 心理学ワークショップー自己理解とコミュニケーションのためにー | | |
| ② 講習内容 | 学校教育における諸活動において、児童生徒の的確な理解はきわめて重要かつ不可欠な前提である。児童生徒理解のために、教員は自らを正しく知っておく必要がある。自己理解なしには、教師である以前に人として、他者と向き合うことができないからである。本講習では、人間性心理学の諸理論に基づく各種ワークを通じて、他者と関わりながら自らを見つめ、自己理解を深めることで、今後の教育活動に資することを目的とする。 | | |
| ③ 講師名 | 伊東 孝郎(イウ コウロウ) | | |
| ④ 定員 | 30名(卒業生先行募集枠:6名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭・栄養教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 全教員 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 特にありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | 平成30年度に「自己理解のための心理学ワークショップ」の履修が認定済の方は、受講できません。 | | |

| 開設日 | 2019年8月22日(木) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 愛着障害の理解と対応 | | |
| ② 講習内容 | ICD-10に基づく小児期の反応性愛着障害の特徴は、言語発達の遅れや不安定な情緒(無感情、みじめさ、恐怖心)、視線や対人関係を回避する反応を示す点である。これは、文部科学省が示す発達障害(自閉症や高機能自閉症)の症状と類似する。違いは、5歳までの養育環境が強く影響し、継続的に安定した養育環境が提供されると大幅な改善ができる点である。人的環境が重要なカギとなるこの障害について学びその対応について考えたい。 | | |
| ③ 講師名 | 伊崎 純子(イキ ジュンコ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 事例経験の有無は問いません。関心のある方はどなたでも受講可能です。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 愛着障害の幼児・児童の事例を経験した方は A4 用紙 1 枚に概略を記載の上、受講してください。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「A」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月23日(金) |
|---------------|--|
| ① 講習名 | ピアノアンサンブル |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については16頁の「ピアノアンサンブル」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 |
| ③ 講師名 | |
| ④ 定員 | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | |
| ⑨ タイムスケジュール | |
| ⑩ 会場 | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | |
| ⑫ その他の連絡事項 | |

| 開設日 | 2019年8月23日(金) |
|---------------|--|
| ① 講習名 | 学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する) |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については11頁の「学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する)」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 |
| ③ 講師名 | |
| ④ 定員 | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | |
| ⑨ タイムスケジュール | |
| ⑩ 会場 | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | |
| ⑫ その他の連絡事項 | |

| 開設日 | 2019年8月23日(金) |
|---------------|--|
| ① 講習名 | ボールゲームの系統的な指導のあり方 |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については16頁の「ボールゲームの系統的な指導のあり方」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 |
| ③ 講師名 | |
| ④ 定員 | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | |
| ⑨ タイムスケジュール | |
| ⑩ 会場 | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | |
| ⑫ その他の連絡事項 | |

| 開設日 | 2019年8月23日(金) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 器械運動の系統的な指導のあり方 | | |
| ② 講習内容 | 器械運動で取り扱われる多くの技は個々にバラバラに存在しているのではなくて、運動構造や運動技術の類似する技のグループとしてまとめることができる。本講習では、それぞれの技の運動構造や運動技術を理解し、系統的・段階的に技を習得していく方法について学んでいく。また、練習環境の整備や補助法についても正しく理解し、授業で適切に実践できるようになることを目指す。講習は講義と実技を組み合わせで行う。 | | |
| ③ 講師名 | 濱崎 裕介 (ハマザキ ユウスケ) | | |
| ④ 定員 | 30名(卒業生先行募集枠:6名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 小学校教諭・中学校(保健体育)教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | 講習は教室での講義と体操場での実技を合わせて行います。運動できる服装を準備してください。実技では主に技の補助法や指導手順について講習を行います。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | 当日は運動できる服装を準備してください。更衣室は体操場内にございます。なお、体育館シューズは必要ありません。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月23日(金) | | |
|---------------|---|--|--|
| ① 講習名 | 心理学ワークショップー自己理解とコミュニケーションのためにー | | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については17頁の「心理学ワークショップー自己理解とコミュニケーションのためにー」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | | |
| ③ 講師名 | | | |
| ④ 定員 | | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | | |
| ⑩ 会場 | | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | | |

| 開設日 | 2019年8月24日(土) |
|---------------|---|
| ① 講習名 | ハンドベル体験講座 |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については6頁の「ハンドベル体験講座」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 |
| ③ 講師名 | |
| ④ 定員 | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | |
| ⑨ タイムスケジュール | |
| ⑩ 会場 | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | |
| ⑫ その他の連絡事項 | |

| 開設日 | 2019年8月24日(土) |
|---------------|--|
| ① 講習名 | ピアノアンサンブル |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については16頁の「ピアノアンサンブル」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 |
| ③ 講師名 | |
| ④ 定員 | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | |
| ⑥ 主な受講対象者 | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | |
| ⑨ タイムスケジュール | |
| ⑩ 会場 | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | |
| ⑫ その他の連絡事項 | |

| 開設日 | 2019年8月24日(土) | | |
|---------------|---|--------------------------------|--------|
| ① 講習名 | 特別支援教育コーディネーターの業務 | | |
| ② 講習内容 | 特別支援教育が開始されたと同時に「特別支援教育コーディネーター」の校務分掌が創設された。しかしながら、当初の障害に対する知識の必要性が注目されたこともあり、ソーシャルワーク等の相談援助技術は重視されずにいたが、この知識、技能は教員であっても身につけるべきものである。本講習では、「特別支援教育コーディネーター」の職責や役割の確認の後、当該業務を行うために有益なソーシャルワークの考え方、知識、技能、態度等を学ぶ。 | | |
| ③ 講師名 | 伊勢 正明 (他 マサキ) | | |
| ④ 定員 | 50名(卒業生先行募集枠:10名) | ⑤ 受講料 | 6,100円 |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | 教諭・養護教諭 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | 幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | グループワークを通して情報共有をして頂く予定です。 具体的には、ご自身が特別支援教育コーディネーターに指名された経験があるか、指名された時の担任したクラスはどこか、コーディネーター業務を行う上で苦労した点は何か、他の先生がコーディネーターをされた時で助かったことの詳細例、等々について共有したいと考えています。 また、支援級や通常級での配慮の編成過程についても可能な範囲で共有できたらありがたいと考えています。 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | グループワークを予定しています。グループ編成のルールは、当日、改めてご案内しますが、同じ職場の方と一緒にならないようにお伝えする予定です。 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | タイムスケジュール「B」 | | |
| ⑩ 会場 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | 試験の方法 | 筆記試験 | |
| | 持込の可否等 | (7月17日頃発送予定の受講前のご案内にてお知らせします。) | |
| ⑫ その他の連絡事項 | (現在のところありません。) | | |

| 開設日 | 2019年8月24日(土) | | |
|---------------|--|--|--|
| ① 講習名 | 器械運動の系統的な指導のあり方 | | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については21頁の「器械運動の系統的な指導のあり方」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | | |
| ③ 講師名 | | | |
| ④ 定員 | | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | | |
| ⑩ 会場 | | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | | |

| 開設日 | 2019年8月24日(土) | |
|---------------|---|--|
| ① 講習名 | 心理学ワークショップー自己理解とコミュニケーションのためにー | |
| ② 講習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ②～⑫については17頁の「心理学ワークショップー自己理解とコミュニケーションのためにー」を参照してください。 ・ 申し込んだ開設日をご確認ください。 ・ 申込み日以外の講習は受講できませんので注意してください。 | |
| ③ 講師名 | | |
| ④ 定員 | | |
| ⑤ 履修認定対象となる職種 | | |
| ⑥ 主な受講対象者 | | |
| ⑦ 申込時における連絡事項 | | |
| ⑧ 受講時における連絡事項 | | |
| ⑨ タイムスケジュール | | |
| ⑩ 会場 | | |
| ⑪ 履修認定試験関係 | | |
| ⑫ その他の連絡事項 | | |

オムニバス方式講習の担当講師スケジュール

| 8月8日(木) | | 【必修】最新の教育事情(小・中・高 教諭向け) | | | |
|----------------|----|-------------------------|--|-------------------------|-------------|
| <Aクラス> | | | | | |
| <Bクラス> | | | | | |
| タイムスケジュール「D」 | | 日 程 | | 担当講師 | |
| | | 講習時間(実施6時間) | | 講習外 | Aクラス |
| 受付 | | 8:30 ~ 9:00 | | 30分 | |
| オリエンテーション | | 9:00 ~ 9:10 | | 10分 | 小泉 祥一 伊勢 正明 |
| 1限 | 講習 | 9:10 ~ 10:25 (75分) | | (10:25~10:40) 休憩 15分 | 小泉 祥一 伊勢 正明 |
| 2限 | 講習 | 10:40 ~ 11:55 (75分) | | | 小泉 祥一 伊勢 正明 |
| 休憩 | | | | 15分 | |
| 試験 | | 12:10 ~ 12:40 (30分) | | | 小泉 祥一 伊勢 正明 |
| 昼休み | | | | (12:40~13:30) 50分 | |
| 3限 | 講習 | 13:30 ~ 14:45 (75分) | | (14:45~15:00) 休憩 15分 | 伊勢 正明 小泉 祥一 |
| 4限 | 講習 | 15:00 ~ 16:15 (75分) | | | 伊勢 正明 小泉 祥一 |
| 休憩 | | | | 15分 | |
| 試験 | | 16:30 ~ 17:00 (30分) | | | 伊勢 正明 小泉 祥一 |
| (解答回収・アンケート配付) | | | | 5分 | 伊勢 正明 小泉 祥一 |
| 事後評価アンケート | | 17:05 ~ 17:10 | | 5分 | 伊勢 正明 小泉 祥一 |

| 8月9日(金) | | 【必修】幼児教育の最新事情 | | | |
|----------------|----|---------------------|--|-------------------------|-------|
| タイムスケジュール「D」 | | 日 程 | | 担当講師 | |
| | | 講習時間(実施6時間) | | 講習外 | |
| 受付 | | 8:30 ~ 9:00 | | 30分 | |
| オリエンテーション | | 9:00 ~ 9:10 | | 10分 | 山路 千華 |
| 1限 | 講習 | 9:10 ~ 10:25 (75分) | | (10:25~10:40) 休憩 15分 | 山路 千華 |
| 2限 | 講習 | 10:40 ~ 11:55 (75分) | | | 山路 千華 |
| 休憩 | | | | 15分 | |
| 試験 | | 12:10 ~ 12:40 (30分) | | | 山路 千華 |
| 昼休み | | | | (12:40~13:30) 50分 | |
| 3限 | 講習 | 13:30 ~ 14:45 (75分) | | (14:45~15:00) 休憩 15分 | 伊勢 正明 |
| 4限 | 講習 | 15:00 ~ 16:15 (75分) | | | 伊勢 正明 |
| 休憩 | | | | 15分 | |
| 試験 | | 16:30 ~ 17:00 (30分) | | | 伊勢 正明 |
| (解答回収・アンケート配付) | | | | 5分 | 伊勢 正明 |
| 事後評価アンケート | | 17:05 ~ 17:10 | | 5分 | 伊勢 正明 |

| 8月20日(火) | | 【選択必修】学校をめぐる変化と組織的対応 | | | |
|------------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------|-------|
| <Aクラス> | | | | | |
| <Bクラス> | | | | | |
| タイムスケジュール 「D」 | 日 程 | | | 担当講師 | |
| | 講習時間(実施6時間) | | 講習外 | Aクラス | Bクラス |
| 受付 | | 8:30 ~ 9:00 | 30分 | | |
| オリエンテーション | | 9:00 ~ 9:10 | 10分 | 金井 正 | 荒川 麻里 |
| 1限 | 講習 | 9:10 ~ 10:25 (75分) | (10:25~10:40) 休憩 15分 | 金井 正 | 荒川 麻里 |
| 2限 | 講習 | 10:40 ~ 11:55 (75分) | | 金井 正 | 荒川 麻里 |
| 休憩 | | | 15分 | | |
| 試験 | | 12:10 ~ 12:40 (30分) | | 金井 正 | 荒川 麻里 |
| 昼休み | | | (12:40~13:30) 50分 | | |
| 3限 | 講習 | 13:30 ~ 14:45 (75分) | (14:45~15:00) 休憩 15分 | 荒川 麻里 | 金井 正 |
| 4限 | 講習 | 15:00 ~ 16:15 (75分) | | 荒川 麻里 | 金井 正 |
| 休憩 | | | 15分 | | |
| 試験 | | 16:30 ~ 17:00 (30分) | | 荒川 麻里 | 金井 正 |
| (解答回収・アンケート配付) | | | 5分 | 荒川 麻里 | 金井 正 |
| 事後評価アンケート | | 17:05 ~ 17:10 | 5分 | 荒川 麻里 | 金井 正 |

| 8月7日(水) | | 【選択】子どものすこやかな体を育てる(身体のこと、健康のこと) | | | |
|------------------|-------------|---------------------------------|-------------------------|-------|-------|
| <Aクラス> | | | | | |
| <Bクラス> | | | | | |
| タイムスケジュール 「D」 | 日 程 | | | 担当講師 | |
| | 講習時間(実施6時間) | | 講習外 | Aクラス | Bクラス |
| 受付 | | 8:40 ~ 9:00 | 20分 | | |
| オリエンテーション | | 9:00 ~ 9:10 | 10分 | 金田 健史 | 荒井 信成 |
| 1限 | 講習 | 9:10 ~ 10:25 (75分) | (10:25~10:40) 休憩 15分 | 金田 健史 | 荒井 信成 |
| 2限 | 講習 | 10:40 ~ 11:55 (75分) | | 金田 健史 | 荒井 信成 |
| 休憩 | | | 15分 | | |
| 試験 | | 12:10 ~ 12:40 (30分) | | 金田 健史 | 荒井 信成 |
| 昼休み | | | (12:40~13:30) 50分 | | |
| 3限 | 講習 | 13:30 ~ 14:45 (75分) | (14:45~15:00) 休憩 15分 | 荒井 信成 | 金田 健史 |
| 4限 | 講習 | 15:00 ~ 16:15 (75分) | | 荒井 信成 | 金田 健史 |
| 休憩 | | | 15分 | | |
| 試験 | | 16:30 ~ 17:00 (30分) | | 荒井 信成 | 金田 健史 |
| (解答回収・アンケート配付) | | | 5分 | 荒井 信成 | 金田 健史 |
| 事後評価アンケート | | 17:05 ~ 17:10 | 5分 | 荒井 信成 | 金田 健史 |